



一般社団法人 鹿児島県住宅産業協会 KAJUKYO

鹿住協だより Vol.49
2025年3月号

【事務局】
〒890-0069 鹿児島市南郡元町14-9
TEL 099-285-0101 FAX 099-285-0122

3月度例会 セミナー実施「盛土規制法の運用について」

3月18日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで例会を開催し、会員約40名が参加した。セミナーでは、鹿児島市建設局都市計画部土地利用調整課主幹兼審査係長の西菌智毅氏が講師を務め、宅地造成等規制法（盛土規制法）の適用範囲や改正点、技術基準、罰則規定について詳細に解説。届出申請書類の書式・記入方法についても具体的に示され、宅地造成を行う事業者にとって実務に直結する貴重な学びの機会となった。



セミナーに聞き入るメンバー

懇親会では逆瀬川勇理事長（三洋ハウス）が登壇。「本年3月は協会が設立10周年を迎える節目。変化が予想される業界環境の中で、一丸となって更なる飛躍を目指したい」と挨拶した。理事長の挨拶に続き、赤崎広久副理事長（NEO）の乾杯で開宴。会員同士が業界動向や自社の展望を語り合い、和やかな親睦のひとときを過ごした。



挨拶する逆瀬川理事長



赤崎副理事長の乾杯で開宴

第27回 鹿住協ゴルフコンペ開催

3月26日、溝部カントリークラブにて会員15名が参加し開催。田中昭弘宅地開発委員会副委員長（南州コンクリート工業）が開会の挨拶で「親睦を深める場として存分に楽しんでいただきたい」と呼びかけた。表彰者は下記の通り。
優勝 田中昭弘、準優勝 西本春義、3位 岡元彰の結果だった。



参加したメンバー

県立鹿児島工業高校で出前授業を実施



写真やスライドを使った座学の様子

スライドを用いた説明があり、生徒たちは実際にノミやカンナを使った加工体験に挑戦した。

生徒たちは、「初めて使うノミなど工具の扱いは思った以上に難しい」と苦戦しつつも、大工さんの指導を受けながら徐々に技術を習得し、「少しずつ形が出来ていくと楽しい」と熱心に作業に取り組んだ。

継手が完成すると、実際に生徒数名が乗って耐荷重テストを実施し、数名が乗ってもびくともしない強度を確認すると教室からは大きな歓声が上がった。

今回の出前授業に際し、当会の逆瀬川理事長は「実践的な学びを通して若い世代のものづくりへの関心を高め、地元産業への理解と就職意欲につなげたい」と述べ、同校の田中校長も「地域企業と連携した貴重な体験が、生徒のキャリア選択を後押しする」と期待を寄せた。

協会では、この出前授業を毎年恒例行事として実施し、地域の若手育成を図っていく方針だ。

当日は授業の2・3時限を使い、建築系学科の生徒40名が参加。協会が派遣した経験豊富な大工職人による「木造継手工法」の座学と実習が行われた。

冒頭、今回の授業を企画した同校の卒業生でPTA会長でもある(株)宮下工務店の宮ノ下社長と同社スタッフによる伝統工法の事例や木材を強固に接合する技術「金輪継ぎ」について写真や



大工さんによる実技指導



生徒数名が乗ってもびくともしない強度

定時総会のご案内

日時 2025年5月20日(火)

セミナー 17:00~18:00 テーマ 「住宅産業の現状と見通しについて」
講師 株式会社九州経済研究所 経済調査部部長 福留一郎様

総会 18:00~19:00

懇親会 19:00~20:30

場所 鹿児島サンロイヤルホテル（鹿児島市与次郎）